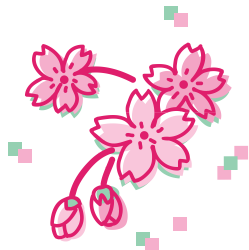


# 羽 沢

令和2年4月7日  
横浜市立羽沢小学校  
学校長 田屋 多恵子

(E) 笑顔いっぱい (S) 健やかいっぱい (D) 大好き羽沢の人とまち  
羽沢小学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hazawa/>



## 羽沢小学校50周年のスタート

校長 田屋 多恵子

硯松の脇の大きな桜の大木は、薄桃色のカーテンを広げたようで、桜の美しさを感じます。そして、その背景には青々としたキャベツの苗が見え、晴れた日には富士山が見えます。

昭和46年、池上小学校から菅田小学校と時期を同じくして、高度成長期の児童の増加に伴い羽沢小学校が開校しました。そして半世紀近く多くの児童を育て、地域行事や地域防災の拠点となり、今、区切りの50周年を迎えます。

この50年、世界は大きく変わりました。地球環境をはじめとしてグローバル化や多様化は私たちが想像できないスピードで進んでいます。新学期からの外国語活動は、1～4年生はそのままで、5年生と6年生では教科「外国語科」として週2時間実施することになりました。また、プログラミング教育も必修となりました。

羽沢小学校はこの一年間、統廃合に向かって踏み出す池上小学校と菅田小学校とともに令和3年4月の菅田中ブロッカー中二小がよりよい形になるようにこの一年間を過ごしていきたいと思えます。

羽沢小学校の子どもたちは明るく素直で前向きな子どもたちばかりです。これはこれまでの成長を支えてくださっている保護者の皆様、地域の方々のご理解やご協力があったからこそだと思っております。

しかし、皆さんもご存じの通り、3月末から休校が続き、様々な課題もある中での新年度の学校のスタートとなりました。しばらくは臨時休業であったり、制約がある中での教育活動になったりするかもしれません。このような時だからこそ、正しい情報を共有し、信頼し合い、心のつながりを保ち、子どもたちのためにできることを考えて、学校を取り巻くすべての方たちと手を携えていきたいと思っております。そのためには学校、家庭、地域がこれまで以上に連携し協力していくことが必要になってくると思えます。

今年も羽沢小学校はESD（持続可能な教育）の推進に取り組みます。そして学校教育目標「笑顔いっぱい（E）」「すこやかいっぱい（S）」「大好き羽沢のひととまち（D）」の実現に向けて教職員一同一丸となって努力していきたいと思っております。ご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 「PTAからなわとびを児童全員にいただきました」

一人で跳べるなわとびならストレス発散にもなり子どもたちにとっても気分転換になり、運動不足解消になるのではと、PTAから全児童になわとびをいただきました。安全な場所で、人と十分距離をとってチャレンジしてみましよう。